■用語集

あ

I C T

Information and Communication Technology の略。「情報通信技術」と訳される。IT (Information Technology の略)が「情報技術」と訳され情報を扱う技術を指すのに対し、ICT は「情報や知識を共有すること」に重きをおいており、人と人・人とモノなどの「コミュニケーション」面を強調しているのが特徴。

ウォーカブルなまちなか (ウォーカブルなまちづくり)

「居心地が良く歩きたくなるまちなか」を形成することで人中心の豊かな生活の実現から、まちの魅力向上の好循環を生み出していくまちづくり。

SDGs

国連サミットで採択された持続可能な開発目標(SDGs: Sustainable Development Goals)のこと。 2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標で、17 のゴールが設定されており、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っている。

エリア全体のリノベーション(まちなかリノベーション)

ポテンシャルなどの資源を活用しエリア全体の使い方を変えていくことで、新たな価値を生み出 していくこと。

か

QOL

Quality of Life の略: 一人一人の人生の質や社会的にみた『生活の質』のことを指す。

コミュニティスペース

地域の人々が交流することを目的とした場所の総称。場所の形態よりも目的が重要であり、カフェや広場、オフィスなどでも、地域の人々が交流することを目的としている場所を指す。

コンテンツ

仕掛けや要素など内容や中身のこと。まちづくりにおけるコンテンツでは、空き家や空き地などの空間の使い方や、市民に提供されるサービス、文化を楽しめる体験や新たな産業など魅力的な地域のモノやことなど広く含む。

士

作業部会

本計画の策定のために必要な実践者の視点での意見提示や、計画推進に向けた意思統一と連携を図るための会議体のこと。

シェアオフィス

複数の個人、企業、団体が、共同で利用するオフィス(事務所)のこと。登録制で、利用する際には特定の占有スペースが決められておらず、そのオフィス内であればどこを利用しても良いことが特徴である。

シェアスペース

広く市民や来訪者に開放された空間のこと。休憩場所としてだけではなく、訪れる人たちの交流 や団体活動の発表の場などとして幅広く活用される場所のこと。

ジオサイト

地球 (ジオ) を学び、丸ごと楽しむことができる場所、エリアのことをジオパークといい、そのジオパークの中の見どころとなる場所のことをジオサイトと呼ぶ。伊豆半島ジオパークはユネスコ世界ジオパークとして認定されており、楽寿園は伊豆半島ジオパークにおける三島ジオサイトの一つとして登録されている。

シビックプライド

自分たちの都市(まち)に対する誇りや愛着のことで、その都市(まち)の様々な課題解決や活性化のための具体的行動に取り組む姿勢も含んだ誇りや愛着心のこと。

た

$\mathbf{D} \mathbf{X}$

Digital Transformation の略。デジタル技術によって、ビジネスや社会、生活の形・スタイルを変える(Transform する)こと。「DT」ではなく「DX」と表記されるのは、英語圏では交差するという意味を持つ「trans」を「X」と略すことがあるためといわれている。

は

Park-PFI

2017 年の都市公園法の改正により設置された制度で、公募設置管理制度のこと。都市公園に民間の優良な投資を誘導し、公園管理者の財政負担を軽減しつつ、都市公園の質の向上、公園利用者の利便性の向上を図る新たな整備・管理手法のこと。

パークレット

車道の一部や駐車帯を転用し、ベンチやテーブルを設置して人のための空間(休憩、食事、読書、 会話、ノートパソコンでの仕事など)を生み出す取り組みのこと。

プラットフォーム

駅のプラットフォームが語源であり、情報や活動状況などを共有し、物やサービスを利用する人と、提供する人など、様々な関わりを持つ人や団体を繋ぐ仕組み、場のこと。

プレイヤー

対象エリアで主体的に活動する人。

フロント

まちの第一印象となる入口・玄関。まちの顔のこと。

フェローシップ

特別研究員のような役割や組織のこと。研究のための奨励金を意味することもある。また、様々な知見を有する人材と地域で活動する人や団体を結び付け、知見を継承していく取り組みのことも含む。

ポテンシャル

可能性や発展性のある潜在能力、可視化されていない資源のこと。また、可能性を秘めた状態のこと。

h

ライフモデル

一日の生活パターンの事例。例えば一日をこのように過ごすことができる、というイメージ。